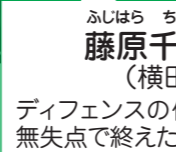


ホッケー ダブルユー エフエイチイー カップ
2019年 HOCKEY WA FHE CUP
ジュニアユース(U15)ホッケー日本代表

11月28日から12月1日にかけて、オーストラリアで開催された2019年HOCKEY WA FHE CUPジュニアユース(U15)にホッケー日本代表として、仁多中学校と横田中学校から4名の選手が選出されました。

オーストラリア、マレーシア、シンガポール、日本の4ヶ国から男子14チーム、女子12チームが出場し、男女ともに優勝を果たしました。男子日本代表の優勝は6年振り3回目となりました。

～11月14日に行われた激励式で抱負を語ってもらいました。～

<p>さえき こうだい 佐伯昂大さん (横田中) 点を取り、チームを盛り上げたいです!</p>			<p>やかべ のん 矢壁乃音さん (横田中) 日本代表として試合中の態度も気をつけます。</p>
<p>はせがわ しゅう 長谷川柊さん (仁多中) スピードあるドリブルを活かし、悔いのない試合をしたいです。</p>			<p>ふじはら ちか 藤原千佳さん (横田中) ディフェンスの仲間と協力して無失点で終わりたいです。</p>

奥出雲町農泊推進協議会モニターツアー実施

平成30年1月に農林水産省中国四国農政局と学校法人吉備学園岡山商科大学は、農山漁村滞在型旅行「農泊」の推進に関して、全国初となる包括的連携協定を締結されました。インバウンドの農山漁村への誘客を加速化するねらいから、これまで、岡山県下2箇所において学生による農泊体験の発信を行っており、今回、第3回目として、初めて奥出雲町へ外国人留学生の農泊モニターツアーを実施しました。韓国・中国出身の10名の学生たちは、たたらと刀剣館をはじめ、鬼の舌震や糸原記念館などを訪れ、一日の締めくくりとして、一味同心塾で地元の方に郷土料理を教えてもらい、全員で楽しく食しました。ツアーの調整をした奥出雲町農泊推進協議会の担当者は、「外国人の目線で色々な意見をいただいて奥出雲町での農泊に手応えを感じた」と話をされました。



▲岡山商科大学の皆さん ▲自分たちで作った夕食「いただきます」 ▲ちらし寿司を作る様子

インドナショナルホッケーチーム
東京オリンピック出場権獲得

10月31日から11月7日にかけて、奥出雲町2020東京オリンピックキャンプ招致委員会は、インドホッケーチームの2020東京オリンピック事前キャンプ誘致活動のためインドを訪問しました。インド国内で開催された最終予選を観戦し、インドチームは男女とも見事東京オリンピックの出場権を獲得されました。その後、インドホッケー協会を訪問し、出場権獲得のお祝いとキャンプ実施のプレゼンテーションを行いました。インドホッケー協会からは前向きなご回答をいただき、今後具体的な交渉を行う予定です。



▲エレナ・ノーマンCEO(インドホッケー協会)と塔村委員長

オランダのデルフトブルータイルで甦る岩屋寺
仁王像プロジェクト



イエック・ファン・ローンさんにインタビューをしました。

なぜ仁王像に興味を持たれましたか?

アムステルダム国立美術館へよく行き、静寂の中で作品を見ることでアイデアを取り入れます。アムステルダム国立美術館にはたくさん彫刻があるのですが、仁王像はとて大きく、静けさの中にも威厳があり魅了されました。

なぜ仁王像をオランダの伝統芸術であるデルフトブルータイルで再現しようと思いましたか?

仁王像に興味を持った私は、アムステルダム国立美術館の職員にオランダに仁王像がある経緯について聞きました。そして、実際に奥出雲町の岩屋寺へ行き、門を見て寂しくなると同時に「デルフトブルータイルで再現し、奥出雲町に戻してあげたい」と感じました。



▲制作の様子

オランダでも同様のワークショップを開催されていると伺っています。

オランダでも、仁王像がなぜオランダにあるかの経緯を市民に説明し、共感した人たちがワークショップに参加してくれました。日本とオランダで共にワークショップをすることにより、お互いの文化と歴史を知る機会にもなります。オランダに住む日本の方もたくさん参加してくれました。



▲制作中の吽形像

奥出雲町についてどう思われますか?

人が温かく、自然もすばらしく、第2のふるさと京都に次ぐ、第3のふるさとは奥出雲町と感じています。今回の訪問でこのワークショップは終了です。これまでの5回の訪問で、奥出雲町でたくさんの友人ができました。言葉でのコミュニケーションができず、苦勞した事もありましたが、言葉を越えて友情が芽生えました。



▲写真左からイエック・ファン・ローンさん、奥出雲町国際交流協会藤原会長、プロジェクト応援者ムラインさん

オランダのビジュアルアーティスト イエック・ファン・ローンさんが昨年に続き今年も来町され、オランダのアムステルダム国立美術館に展示されている岩屋寺の仁王像をオランダの伝統芸術「デルフトブルータイル」で再現するプロジェクトが10月23日から始まりました。昨年は、開口した姿の阿形像を制作し、今年には口を結んだ吽形像と阿形像・吽形像2体の背面制作をしました。原寸大の下絵を52枚に切り分けた15cm四方のタイルに青い顔料で描くワークショップを町民の皆さんと共に交流をしながら行い、像を完成させました。